



株式会社ベネッセホールディングス

広報・IR部
〒206-0033
東京都多摩市落合1-34
TEL: 042-357-3656
E-mail: tokyoir@mail.benesse.co.jp
URL: <https://www.benesse-hd.co.jp/ja/ir/index.html>



Cover Story

地中美術館 写真：鈴木 研一

瀬戸内海の直島を中心に展開しているアート活動「ベネッセアートサイト直島」。表紙の写真は、その直島に「自然と人間を考える場所」として2004年に開館した地中美術館です。建築家・安藤忠雄氏が設計を手がけたこの美術館は、瀬戸内の美しい景観を損なわないよう建物の大半が地下に埋設。館内では、クロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリアの作品を常設展示しています。

「ベネッセアートサイト直島」Webサイト <http://benesse-artsite.jp/>

免責事項

本DATA BOOKは投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものです。当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に誤りがあった場合、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



株式会社 ベネッセホールディングス

DATA BOOK 2018

目次

- 01 At a Glance
- 03 連結財務ハイライト
- 05 連結貸借対照表
- 09 連結損益計算書
- 11 連結キャッシュ・フロー計算書
- 13 連結セグメント情報
- 15 事業データ
- 19 連結経営指標
- 21 CSRデータ
- 23 事業別概況
- 30 投資家情報
- 31 会社情報

2018年3月期

At a Glance

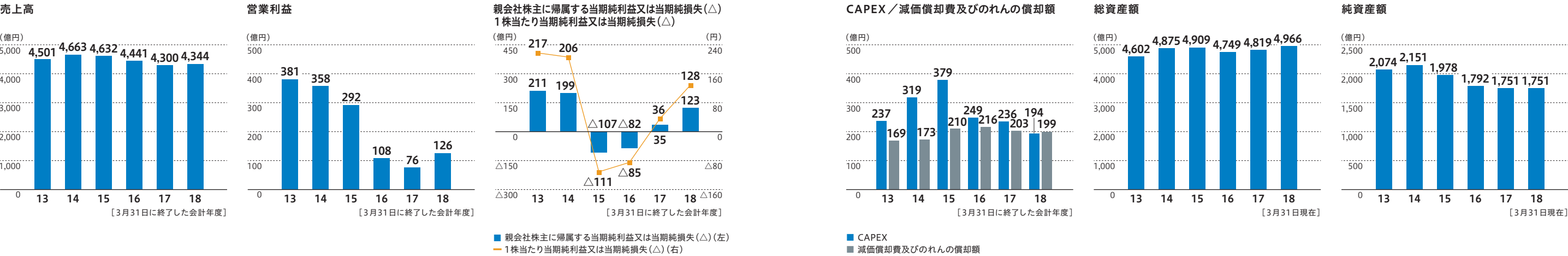
売上高構成比	主な事業	主なグループ会社	主な取り扱い商品とサービス	売上高・営業利益
国内教育カンパニー 2018年3月期 47.2%	- 通信教育講座「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」 - 大学入試模擬試験「進研模試」を中心とした学校向け教育事業 - 学習塾・予備校事業 - 子ども向け英語教室事業	(株)ベネッセコーポレーション (株)東京個別指導学院 (株)アップ (株)東京教育研 (株)お茶の水ゼミナール (株)進研アド		(億円) 3,000 2,000 1,000 0 (億円) 150 100 50 0 2017 2018 売上高(左) 営業利益(右) [3月31日に終了した会計年度]
海外事業カンパニー 2018年3月期 6.7%	中国・台湾での幼児向けを中心とした通信教育事業	(株)ベネッセコーポレーション 倍楽生商貿(中国)有限公司		(億円) 300 200 100 0 (億円) 45 30 15 0 2017 2018 売上高(左) 営業利益(右) [3月31日に終了した会計年度]
介護・保育カンパニー 2018年3月期 25.7%	- 入居介護サービス事業(有料老人ホーム・高齢者向け住宅の運営) - 在宅介護サービス事業 - 保育園・学童運営事業 - 看護師・介護士の人材紹介および派遣事業 - 配食サービス・介護食事業 - 介護相談窓口事業	(株)ベネッセスタイルケア (株)ベネッセMCM (株)ベネッセパレット (株)ベネッセシニアサポート		(億円) 1,200 800 400 0 (億円) 120 80 40 0 2017 2018 売上高(左) 営業利益(右) [3月31日に終了した会計年度]
語学カンパニー 2018年3月期 13.2%	- 語学教育事業、ELS事業(留学支援事業)、グローバル人材教育事業 - 通訳・翻訳事業	ベルリッツ コーポレーション (株)サイマル・インターナショナル		(億円) 900 600 300 0 (億円) 120 80 40 0 2017 2018 売上高(左) 営業損失(右) [3月31日に終了した会計年度]
その他 2018年3月期 7.2%	- テレマーケティング事業 - 通信販売事業「たまひよの内祝」「たまひよSHOP」 - 妊娠・出産・育児雑誌「たまごクラブ」「ひよこクラブ」 - 情報システムの保守・運用事業、情報処理サービス事業	(株)TMJ※ (株)ベネッセコーポレーション (株)ベネッセインフォシェル ※2017年10月2日付で、当社の保有する全株式をセコム(株)に譲渡しています。		(億円) 600 400 200 0 (億円) 30 20 10 0 2017 2018 売上高(左) 営業利益(右) [3月31日に終了した会計年度]

(百万円)										
3月31日に終了した会計年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
会計年度										
売上高	¥ 412,711	¥ 406,602	¥ 412,828	¥ 423,706	¥ 450,182	¥ 466,399	¥ 463,264	¥ 444,190	¥ 430,064	¥ 434,497
売上原価	204,115	199,835	203,842	212,016	228,890	243,197	258,747	255,349	251,361	249,993
販売費及び一般管理費	169,469	168,877	166,118	177,892	183,146	187,371	175,290	177,977	171,016	171,877
営業利益	39,125	37,889	42,867	33,797	38,145	35,830	29,227	10,862	7,685	12,626
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	29,983	38,615	36,669	34,055	38,245	32,908	△3,475	9,921	8,800	20,755
法人税等合計	18,652	15,911	15,606	17,109	16,614	12,536	6,474	17,138	4,202	7,629
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	10,678	21,874	20,586	16,369	21,147	19,930	△10,705	△8,211	3,557	12,397
CAPEX	¥ 18,051	¥ 27,042	¥ 21,938	¥ 44,610	¥ 23,796	¥ 31,915	¥ 37,998	¥ 24,934	¥ 23,609	¥ 19,419
減価償却費及びのれんの償却額	13,456	13,028	13,738	14,183	16,957	17,367	21,056	21,606	20,384	19,961

(円)										
1株当たり情報										
当期純利益又は当期純損失(△)	¥ 106.98	¥ 221.65	¥ 208.47	¥ 167.79	¥ 217.54	¥ 206.79	¥ △111.30	¥ △85.37	¥ 36.98	¥ 128.79
配当金	90	90	95	95	95	95	95	95	95	95

(百万円)										
会計年度末										
総資産額	¥ 343,128	¥ 356,153	¥ 405,119	¥ 432,080	¥ 460,259	¥ 487,594	¥ 490,954	¥ 474,926	¥ 481,904	¥ 496,607
純資産額	168,497	183,169	192,793	194,189	207,479	215,109	197,892	179,266	175,166	175,122
1株当たり純資産額	¥ 1,646.83	¥ 1,792.80	¥ 1,893.72	¥ 1,933.52	¥ 2,071.24	¥ 2,173.58	¥ 2,000.43	¥ 1,796.57	¥ 1,749.37	¥ 1,777.26
発行済株式総数(千株)	106,353	106,353	106,353	104,153	102,453	102,453	102,453	102,453	102,453	102,464

(注) 1. 「売上原価」は、P.9～10の「売上原価」から「返品調整引当金戻入額」を減じ、「返品調整引当金繰入額」を加えています。
2. 「1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)」は、期中平均株式数に基づき算出しています。
3. 「企業結合に関する会計基準」等を適用し、2016年3月期より、「当期純利益又は当期純損失(△)」を「親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)」としています。



連結貸借対照表

(百万円)											
3月31日現在	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		2018
資産の部											
流動資産	¥ 179,850	¥ 179,687	¥ 233,544	¥ 230,014	¥ 248,663	¥ 262,779	¥ 251,278	¥ 243,602	¥ 250,787	¥	270,172
現金及び預金	42,784	48,877	93,982	72,647	72,464	79,726	104,541	91,892	113,542		134,206
受取手形及び売掛金	24,400	24,218	26,185	27,371	30,108	31,266	31,671	32,577	32,023		30,863
有価証券	43,517	31,631	32,053	49,128	57,491	51,279	24,313	44,501	30,301		23,599
商品及び製品	14,112	13,969	14,334	16,900	21,105	31,750	25,873	18,316	20,057		23,998
仕掛品	3,685	3,334	4,255	4,098	3,911	4,611	3,737	3,481	3,535		4,318
原材料及び貯蔵品	1,780	1,707	1,693	1,634	1,807	1,643	1,595	1,726	1,506		1,387
繰延税金資産	5,758	5,230	6,262	5,482	6,185	5,658	6,034	3,514	3,694		3,273
未収入金	38,318	42,032	41,863	46,684	46,510	48,547	41,479	39,961	38,348		41,621
その他	7,281	10,426	14,450	7,781	10,767	10,044	13,775	9,067	9,373		8,451
貸倒引当金	△1,788	△1,740	△1,536	△1,715	△1,686	△1,750	△1,744	△1,436	△1,596		△1,546
固定資産	163,278	176,466	171,575	202,066	211,595	224,815	239,676	231,324	231,116		226,434
有形固定資産	74,609	75,994	75,122	91,105	97,765	107,440	121,996	129,743	136,231		139,395
建物及び構築物（純額）	29,223	29,016	28,223	31,675	31,166	31,527	31,819	31,446	29,369		29,011
土地	36,092	36,106	35,985	38,126	37,326	38,319	37,195	36,745	34,947		34,834
リース資産（純額）	—	—	2,133	12,597	19,893	28,008	43,317	52,723	63,384		67,161
その他（純額）	9,293	10,871	8,780	8,705	9,378	9,584	9,664	8,827	8,530		8,389
無形固定資産	29,895	42,500	43,535	55,330	54,970	58,031	58,355	51,327	43,918		36,706
のれん	13,157	18,537	15,620	23,452	20,233	19,325	18,526	16,150	13,611		10,657
ソフトウェア	—	22,405	26,545	27,639	30,642	35,098	36,576	32,844	28,430		24,756
その他	16,737	1,557	1,369	4,238	4,094	3,607	3,252	2,332	1,876		1,291
投資その他の資産	58,773	57,970	52,917	55,630	58,859	59,343	59,324	50,253	50,966		50,332
投資有価証券	29,374	25,101	16,756	16,497	19,072	18,040	13,771	13,806	14,316		14,134
長期貸付金	—	—	4,536	4,837	4,780	4,490	4,896	4,583	4,412		4,160
前払年金費用	4,461	4,442	4,383	4,236	3,816	—	—	—	—		—
退職給付に係る資産	—	—	—	—	—	1,376	2,457	385	1,710		1,566
繰延税金資産	4,391	3,260	6,099	6,848	7,347	9,969	10,073	2,522	1,596		1,642
その他	20,818	25,259	21,226	23,279	23,907	25,526	28,188	29,056	29,019		28,921
貸倒引当金	△272	△93	△84	△69	△65	△60	△62	△101	△89		△92
資産合計	¥ 343,128	¥ 356,153	¥ 405,119	¥ 432,080	¥ 460,259	¥ 487,594	¥ 490,954	¥ 474,926	¥ 481,904	¥	496,607

(注) 1. 「有形固定資産」の「その他」に含めて表示していた「リース資産」は、総資産額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。
2. 「無形固定資産」の「その他」に含めて表示していた「ソフトウェア」は、総資産額の100分の5を超えたため、2010年3月期から区分掲記しています。
3. 「投資その他の資産」の「その他」に含めて表示していた「長期貸付金」は、総資産額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。

連結貸借対照表

(百万円)										
3月31日現在	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
負債の部										
流動負債	¥ 147,825	¥ 139,389	¥ 149,289	¥ 153,001	¥ 157,291	¥ 172,943	¥ 187,296	¥ 145,681	¥ 147,664	¥ 161,586
支払手形及び買掛金	12,398	12,025	13,114	14,198	14,721	18,037	19,937	12,695	16,707	17,033
短期借入金	1,628	1,447	467	270	—	—	—	—	—	—
1年内返済予定の長期借入金	281	122	44	259	250	6,250	25,033	9	—	5,000
未払金	24,655	24,483	24,314	26,003	26,024	29,835	34,216	27,085	26,605	27,114
未払法人税等	11,458	4,864	14,323	6,647	9,048	6,278	3,430	5,053	5,280	5,754
前受金	79,596	78,691	78,655	87,624	88,710	93,468	84,385	79,479	80,361	87,275
添削料引当金	768	770	728	677	679	628	406	312	307	324
賞与引当金	6,174	6,178	6,290	6,737	6,874	6,841	6,528	6,387	6,563	7,076
役員賞与引当金	287	188	194	206	324	331	300	410	300	389
返品調整引当金	522	474	448	393	362	343	383	369	341	399
その他	10,055	10,144	10,706	9,982	10,297	10,926	12,672	13,877	11,196	11,218
固定負債	26,806	33,593	63,036	84,889	95,488	99,541	105,766	149,979	159,073	159,898
長期借入金	269	219	25,009	31,500	31,250	25,000	5,014	37,805	37,805	32,805
リース債務	—	—	2,068	12,130	19,393	27,933	43,872	54,284	65,887	71,171
受入入居保証金	—	21,099	25,300	27,804	30,152	30,885	32,902	34,375	35,023	36,922
繰延税金負債	301	668	611	2,411	2,580	2,921	4,251	3,626	560	468
退職給付引当金	2,774	2,835	2,980	3,152	3,471	—	—	—	—	—
役員退職慰労引当金	1,547	1,405	1,435	202	224	165	179	164	124	90
退職給付に係る負債	—	—	—	—	—	6,708	7,240	7,241	7,173	7,408
その他	21,913	7,364	5,631	7,687	8,415	5,926	12,305	12,480	12,499	11,030
負債合計	174,631	172,983	212,326	237,890	252,780	272,484	293,062	295,660	306,738	321,484

純資産の部										
株主資本	169,746	181,803	194,255	195,976	207,886	214,907	195,146	177,915	172,333	176,067
資本金	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,623
資本剰余金	29,358	29,358	29,381	29,358	29,358	29,358	29,358	29,479	29,479	29,556
利益剰余金	152,239	165,372	177,342	176,863	182,935	193,679	173,920	156,571	150,991	154,245
自己株式	△25,451	△26,527	△26,067	△23,844	△18,007	△21,730	△21,732	△21,735	△21,736	△21,358
その他の包括利益累計額	△6,860	△4,967	△7,212	△8,014	△6,538	△5,830	△2,726	△5,106	△4,065	△4,903
その他有価証券評価差額金	△1,634	88	△17	280	1,183	1,712	2,235	1,363	1,605	1,719
為替換算調整勘定	△5,226	△5,056	△6,793	△7,855	△7,172	△5,456	△3,468	△3,732	△4,596	△5,404
在外連結子会社年金債務調整額	—	—	△401	△440	△549	—	—	—	—	—
退職給付に係る調整累計額	—	—	—	—	—	△2,086	△1,494	△2,737	△1,073	△1,218
新株予約権	551	667	683	683	458	141	—	41	115	99
非支配株主持分	5,059	5,667	5,065	5,543	5,671	5,891	5,472	6,415	6,782	3,858
純資産合計	168,497	183,169	192,793	194,189	207,479	215,109	197,892	179,266	175,166	175,122
負債純資産合計	¥ 343,128	¥ 356,153	¥ 405,119	¥ 432,080	¥ 460,259	¥ 487,594	¥ 490,954	¥ 474,926	¥ 481,904	¥ 496,607

(注) 1. 「固定負債」の「その他」に含めて表示していた「リース債務」は、負債及び純資産の合計額の100分の1を超えたため、2011年3月期から区分掲記しています。
2. 「固定負債」の「その他」に含めて表示していた「受入入居保証金」は、負債及び純資産の合計額の100分の5を超えたため、2010年3月期から区分掲記しています。
3. 「企業結合に関する会計基準」等を適用し、2016年3月期より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としています。

連結損益計算書

	(百万円)									
3月31日に終了した会計年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
売上高	¥ 412,711	¥ 406,602	¥ 412,828	¥ 423,706	¥ 450,182	¥ 466,399	¥ 463,264	¥ 444,190	¥ 430,064	¥ 434,497
売上原価	204,148	199,883	203,868	212,071	228,921	243,217	258,707	255,367	251,386	249,934
返品調整引当金戻入額	555	522	474	448	393	362	343	383	366	341
返品調整引当金繰入額	522	474	448	393	362	343	383	366	341	399
差引売上総利益	208,595	206,766	208,986	211,690	221,292	223,201	204,517	188,840	178,702	184,504
販売費及び一般管理費	169,469	168,877	166,118	177,892	183,146	187,371	175,290	177,977	171,016	171,877
販売促進費	—	—	—	—	—	18,045	20,852	20,663	20,294	18,637
ダイレクトメール費	28,495	30,340	28,268	31,887	31,575	29,269	10,794	14,391	17,804	19,396
広告宣伝費	14,741	13,207	11,344	12,015	12,418	13,729	18,594	14,399	12,543	12,945
運賃通信費	20,280	20,757	20,654	20,698	20,070	19,374	15,830	14,782	14,339	14,671
顧客管理費	11,245	12,007	11,247	12,580	14,350	15,784	18,876	23,406	20,220	18,591
給料及び手当	34,380	34,126	33,164	34,825	36,412	38,200	37,842	37,838	35,246	35,767
賞与引当金繰入額	3,512	3,676	3,479	3,591	3,602	3,545	3,282	2,995	3,235	3,655
役員賞与引当金繰入額	287	200	196	206	321	329	295	410	300	387
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	2,056	1,995	1,956	1,578
退職給付引当金繰入額	877	844	1,134	1,203	1,454	1,910	—	—	—	—
役員退職慰労引当金繰入額	166	133	115	65	77	79	42	22	17	10
貸倒引当金繰入額	751	706	691	830	729	947	843	758	818	740
その他	54,729	52,876	55,823	59,988	62,132	46,154	45,978	46,311	44,239	45,496
営業利益	39,125	37,889	42,867	33,797	38,145	35,830	29,227	10,862	7,685	12,626
営業外収益	3,219	2,367	3,012	1,917	3,451	2,481	1,794	2,378	2,679	2,206
受取利息	1,372	681	515	423	441	440	472	433	413	463
受取配当金	197	173	124	52	77	85	110	84	129	141
固定資産賃貸料	456	431	452	485	476	486	505	467	378	350
為替差益	—	646	—	—	1,670	94	—	—	—	368
投資有価証券売却益	—	—	513	119	115	191	—	632	577	43
投資事業組合運用益	—	—	—	—	71	535	125	196	68	146
還付消費税等	—	—	—	—	—	—	—	—	611	61
持分法による投資利益	81	96	527	243	179	164	49	66	128	192
デリバティブ運用収益	749	—	423	—	—	—	—	—	—	—
その他	361	337	455	593	419	483	531	497	370	439
営業外費用	3,069	1,091	1,176	1,017	2,601	3,095	4,182	4,508	4,819	5,579
支払利息	58	64	86	290	868	1,418	2,426	3,219	3,922	4,461
固定資産賃貸費用	177	164	160	251	237	223	212	186	157	190
為替差損	2,002	—	536	131	—	—	279	453	260	—
デリバティブ運用損失	—	517	—	32	1,159	1,067	503	112	—	—
その他	830	344	393	311	336	385	762	537	478	928
経常利益	39,276	39,165	44,703	34,698	38,995	35,216	26,838	8,732	5,545	9,253
特別利益	2,848	1,294	223	550	273	1,998	327	2,506	4,130	12,764
固定資産売却益	9	1	8	—	48	98	115	2,258	3,623	82
子会社株式売却益	2,737	1,152	117	—	—	1,537	—	—	—	12,681
退職給付制度改定益	—	—	—	—	—	—	—	248	—	—
受取損害賠償金	—	—	—	—	—	—	—	—	506	—
国庫補助金	—	114	—	—	—	45	70	—	—	—
段階取得に係る差益	—	—	—	357	—	—	—	—	—	—
事業譲渡益	100	—	80	193	—	—	—	—	—	—
新株予約権戻入益	—	—	—	—	224	317	141	—	—	—
持分変動利益	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	1	23	17	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	12,141	1,843	8,256	1,192	1,023	4,306	30,642	1,317	875	1,261
固定資産除売却損	601	491	1,002	1,009	34	44	13	17	8	2
固定資産圧縮損	—	114	—	—	—	44	70	—	—	—
のれん償却額	7,619	—	—	—	—	—	—	—	—	—
減損損失	587	33	6,401	79	842	3,190	221	157	867	873
投資有価証券評価損	2,154	17	20	97	38	2	49	353	—	—
在外連結子会社リストラクチャリング費用	—	—	—	—	—	357	1,129	—	—	385
事業整理損	150	1,105	—	—	102	—	792	788	—	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	—	614	—	—	—	—	—	—	—
訴訟関連損失	277	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社整理損	—	—	205	—	—	107	—	—	—	—
事業構造改善費用	420	—	—	—	—	550	2,315	—	—	—
情報セキュリティ対策費	—	—	—	—	—	—	26,039	—	—	—
その他	330	81	13	6	6	7	10	—	—	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	29,983	38,615	36,669	34,055	38,245	32,908	△3,475	9,921	8,800	20,755
法人税等合計	18,652	15,911	15,606	17,109	16,614	12,536	6,474	17,138	4,202	7,629
法人税、住民税及び事業税	20,389	14,548	19,346	16,202	18,120	14,042	6,228	7,099	7,198	8,142
法人税等調整額	△1,736	1,363	△3,740	906	△1,505	△1,506	245	10,038	△2,996	△513
当期純利益又は当期純損失(△)	—	—	21,063	16,946	21,631	20,372	△9,950	△7,216	4,597	13,126
非支配株主に帰属する当期純利益	652	829	476	577	483	442	755	994	1,040	729
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	¥ 10,678	¥ 21,874	¥ 20,586	¥ 16,369	¥ 21,147	¥ 19,930	¥ △10,705	¥ △8,211	¥ 3,557	¥ 12,397

(注) 1. 「営業外収益」の「その他」に含めて表示していた「投資事業組合運用益」は、営業外収益の合計額の100分の10を超えたため、2013年3月期から区分掲記しています。
2. 「販売費及び一般管理費」の「その他」に含めて表示していた「販売促進費」は、販売費及び一般管理費の合計額の100分の10を超えたため、2014年3月期から区分掲記しています。
3. 区分掲記していた「営業外費用」の「デリバティブ運用損失」は、重要性が乏しくなったため、2017年3月期から「その他」に含めて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

	(百万円)									
3月31日に終了した会計年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
営業活動によるキャッシュ・フロー	¥ 38,664	¥ 30,310	¥ 44,937	¥ 40,631	¥ 33,709	¥ 32,295	¥ 27,839	¥ 26,195	¥ 25,237	¥ 26,449
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	29,983	38,615	36,669	34,055	38,245	32,908	△3,475	9,921	8,800	20,755
減価償却費	13,600	13,156	13,865	14,396	17,152	17,548	21,225	21,758	20,506	20,121
減損損失	587	33	6,401	79	842	3,190	221	157	867	873
のれん償却額	7,619	—	—	—	—	—	—	—	—	—
引当金の増減額(△は減少)	751	△340	263	484	363	△3,952	△759	△420	196	1,073
事業整理損	150	1,105	—	—	—	—	792	788	—	—
子会社株式売却損益(△は益)	△2,737	△1,152	△117	—	—	△1,537	—	—	—	△12,681
事業構造改善費用	—	—	—	—	—	550	2,315	—	—	—
情報セキュリティ対策費	—	—	—	—	—	—	26,039	—	—	—
その他の損益(△は益)	2,247	407	538	604	549	135	3,218	1,291	399	4,240
売上債権の増減額(△は増加)	2,741	648	△2,348	△497	△1,990	456	257	△1,254	26	△2,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,671	△158	△1,375	△2,338	△4,013	△11,497	6,005	7,547	△1,821	△4,640
未収入金の増減額(△は増加)	△6,466	△3,315	△147	△4,963	205	△1,951	7,112	2,836	268	△3,285
仕入債務の増減額(△は減少)	817	△598	1,211	974	220	2,724	1,891	△7,111	4,242	438
未払金の増減額(△は減少)	263	△195	△1,406	4,591	△1,450	2,846	4,323	△6,351	326	2,267
前受金の増減額(△は減少)	3,819	817	976	7,876	△313	3,080	△10,954	△3,796	2,491	6,651
前払年金費用の増減額(△は増加)	△120	18	59	146	420	3,816	—	—	—	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	—	—	—	—	△3,446	△819	2,071	△1,324	108
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	—	—	—	—	5,772	△90	—	—	—
その他の資産、負債の増減額	3,184	1,675	5,105	4,975	2,325	△1,400	7,830	3,725	900	3,627
小計	53,770	50,717	59,695	60,385	52,558	49,246	65,133	31,164	35,880	37,127
利息及び配当金の受取額	1,593	907	684	536	535	545	631	545	500	677
利息の支払額	△57	△64	△107	△297	△867	△1,421	△2,422	△3,226	△3,923	△4,460
事業構造改善費用の支払額	—	—	—	—	—	△46	△2,024	—	—	—
情報セキュリティ対策費の支払額	—	—	—	—	—	—	△21,366	—	—	—
法人税等の支払額	△16,642	△21,250	△15,335	△25,876	△18,518	△19,310	△13,865	△6,463	△7,990	△8,437
法人税等の還付額	—	—	—	5,882	—	3,281	1,753	4,177	770	1,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,217	△36,449	△14,632	△33,524	△23,012	△24,729	3,048	△26,191	△436	5,503
有価証券の取得による支出	△66,034	△59,169	△73,627	△56,541	△74,464	△82,221	△24,758	△64,616	△64,014	△34,042
有価証券の売却による収入	73,881	55,177	70,435	59,952	72,078	80,031	56,447	53,518	72,427	40,218
有形固定資産の取得による支出	△7,454	△5,350	△4,973	△5,610	△5,245	△8,434	△6,319	△5,736	△4,325	△6,197
有形固定資産の売却による収入	37	4	53	15	849	1,650	1,429	2,003	7,385	195
ソフトウェアの取得による支出	△6,083	△13,680	△11,768	△10,146	△8,802	△12,563	△12,296	△7,028	△5,938	△5,766
投資有価証券の取得による支出	△4,854	△2,965	△6,054	△6,363	△5,768	△3,997	△2,262	△4,059	△2,146	△470
投資有価証券の売却による収入	3,878	5,034	11,565	4,498	1,316	2,047	668	1,664	1,175	1,154
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,725	—	—	—	△313	△1,179	—	—	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△1,000	—	—	—	△477	—	—	—	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12,909
子会社株式の取得による支出	—	—	—	△10,683	—	—	—	—	—	—
子会社株式の売却による収入	4,470	—	229	—	—	—	—	—	—	—
子会社株式(持分)の追加取得による支出	—	—	—	△4,006	—	△302	△1,092	—	—	—
事業譲受による支出	△690	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業譲渡による収入	100	—	153	297	—	—	—	—	—	—
吸収分割による支出	—	△1,681	—	—	—	—	—	—	—	—
定期預金の純増減額(△は増加)	911	△2,510	2,953	△1,918	△1,449	1,775	△3,457	806	△3,511	△867
その他	△3,378	△4,581	△3,599	△3,018	△1,525	△1,923	△4,132	△2,743	△1,488	△1,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,261	△11,711	12,923	△11,254	△11,270	△14,514	△13,112	△3,236	△11,994	△12,512
短期借入金の純増減額(△は減少)	440	△722	△970	△197	△269	—	△786	—	—	—
長期借入れによる収入	—	—	25,019	5,000	—	—	5,071	32,805	—	—
長期借入金の返済による支出	△668	△280	△304	△44	△259	△250	△6,269	△25,027	△9	—
配当金の支払額	△9,065	△8,888	△9,125	△9,315	△9,234	△9,185	△9,137	△9,137	△9,136	△9,150
ストックオプション権利行使による収入	408	337	499	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得による支出	△13,264	△1,514	△18	△5,339	△2	△3,723	△3	—	—	—
子会社の自己株式の取得による支出	△668	△0	△1,117	△0	—	—	—	—	—	—
リース債務の返済による支出	—	—	△799	△1,089	△1,262	△1,431	△1,723	△1,858	△2,155	△2,222
非支配株主への配当金の支払額	—	—	—	—	—	—	—	—	△690	△1,530
その他	△443	△642	△258	△267	△242	75	△262	△17	△2	390
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,380	443	△1,712	△601	1,433	2,982	1,343	△1,368	△2,160	△136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,803	△17,406	41,516	△4,748	859	△3,966	19,119	△4,600	10,645	19,303
現金及び現金同等物の期首残高	71,777	77,581	60,174	101,691	96,942	97,802	93,835	112,955	108,355	119,001
現金及び現金同等物の期末残高	¥ 77,581	¥ 60,174	¥ 101,691	¥ 96,942	¥ 97,802	¥ 93,835	¥ 112,955	¥ 108,355	¥ 119,001	¥ 138,304

(注) 1. 「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた「長期借入れによる収入」及び「リース債務の返済による支出」は、重要性が増したため、2011年3月期から区分掲記しています。

2. 「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の損益」及び「たな卸資産の増減額」に含めて表示していた「事業構造改善費用」及び「事業構造改善費用の支払額」は、重要性が増したため、2015年3月期から区分掲記しています。また、この表示方法を反映させるため、2014年3月期の数値を組み替えています。

3. 区分掲記していた「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「退職給付に係る負債の増減額」及び「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「自己株式の取得による支出」は、重要性が乏しくなったため、2016年3月期から「その他」に含めて表示しています。

4. 「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示していた「非支配株主への配当金の支払額」は、重要性が増したため、2018年3月期から区分掲記しています。また、この表示方法を反映させるため、2017年3月期の数値を組み替えています。

連結セグメント情報

2017年3月期からセグメントを変更しました。2015年3月期及び2016年3月期の数値は、新セグメントに合わせて組み替えたものです。

セグメント変更前

(百万円)

3月31日に終了した会計年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015
売上高	¥ 406,602	¥ 412,828	¥ 423,706	¥ 450,182	¥ 466,399	¥ 463,264
国内教育事業領域	240,011	240,576	240,178	256,246	253,499	238,815
海外教育事業領域	7,670	9,394	10,830	13,041	17,818	21,006
生活事業領域	30,587	28,260	25,337	22,925	20,938	15,324
シニア・介護事業領域	44,612	58,897	66,539	73,907	79,598	87,271
語学・グローバル人材教育事業領域	53,794	53,989	59,427	61,547	70,830	74,570
その他	29,926	21,709	21,392	22,515	23,713	26,276
営業利益(損失)	37,889	42,867	33,797	38,145	35,830	29,227
国内教育事業領域	38,380	40,619	32,857	37,316	32,489	26,202
海外教育事業領域	△983	△691	△1,343	△1,361	△698	1,367
生活事業領域	△1,524	△473	△1,277	△1,072	△232	△826
シニア・介護事業領域	3,009	4,078	4,668	4,897	5,869	5,610
語学・グローバル人材教育事業領域	313	767	543	568	1,850	2,699
その他	1,212	952	979	1,887	1,084	2,037
調整額	△2,518	△2,385	△2,631	△4,090	△4,532	△7,863

(注) 1. セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。
2. 各セグメントの営業利益(損失)は、消去又は全社費用を控除する前の数値です。

セグメント変更後

(百万円)

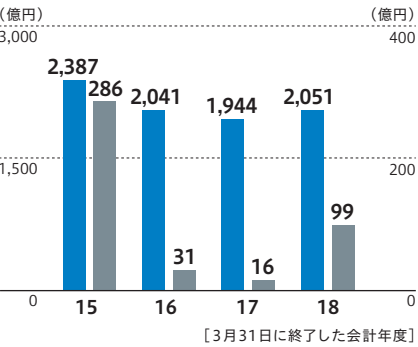
3月31日に終了した会計年度	2015	2016	2017	2018
売上高	¥ 463,264	¥ 444,190	¥ 430,064	¥ 434,497
国内教育カンパニー	238,732	204,157	194,406	205,160
海外事業カンパニー	21,006	27,114	28,046	29,089
介護・保育カンパニー	87,271	94,966	102,996	111,812
語学カンパニー	74,570	73,912	60,282	57,132
その他	41,683	44,039	44,331	31,301
営業利益(損失)	29,227	10,862	7,685	12,626
国内教育カンパニー	28,664	3,117	1,671	9,958
海外事業カンパニー	1,573	2,641	3,136	2,102
介護・保育カンパニー	5,610	7,023	8,186	8,850
語学カンパニー	2,699	3,234	△479	△3,779
その他	2,590	1,697	1,996	870
調整額	△11,910	△6,852	△6,825	△5,376

(注) 1. セグメントの売上高は、外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。
2. 2017年3月期から、組織変更に伴い、セグメント区分の変更を行いました。2015年3月期及び2016年3月期の数値は、新セグメントに合わせて組み替えたものです。なお、2015年3月期の数値は、未監査の数値です。
3. 各セグメントの営業利益は、消去又は全社費用を控除する前の数値です。

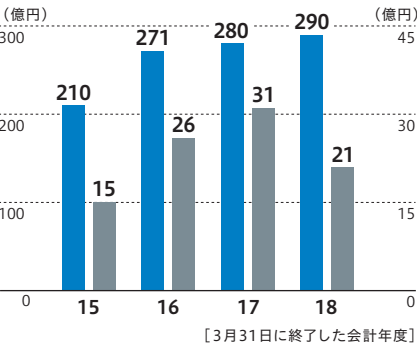
セグメント変更後

■ 売上高(左) ■ 営業利益(損失)(右)

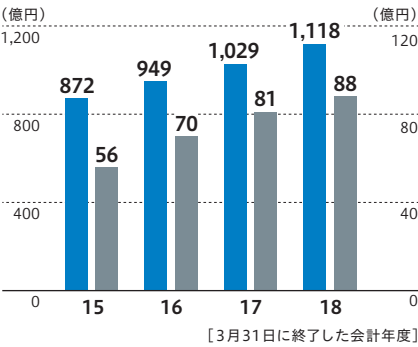
国内教育カンパニー



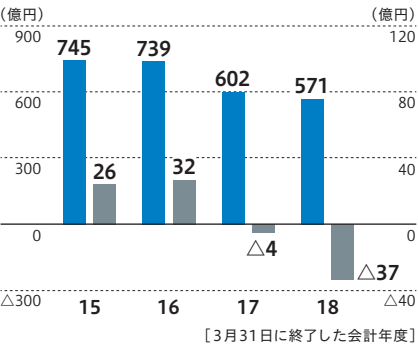
海外事業カンパニー



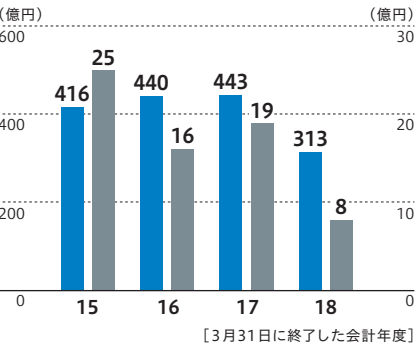
介護・保育カンパニー



語学カンパニー



その他



	(千人)									
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
国内会員数	4,040	4,080	4,030	4,090	3,850	3,650	2,710	2,430	2,450	2,570
高校講座	340	340	300	320	310	280	170	150	150	160
中学講座	770	760	740	780	730	690	450	390	400	420
小学講座	1,710	1,770	1,800	1,840	1,760	1,660	1,330	1,150	1,160	1,200
こどもちゃれんじ	1,220	1,210	1,180	1,150	1,050	1,020	760	740	740	790
海外会員数	320	390	510	650	690	780	900	1,100	1,220	1,270
中国	160	220	340	480	510	600	730	930	1,080	1,150
台湾	160	160	160	170	180	180	170	160	150	120

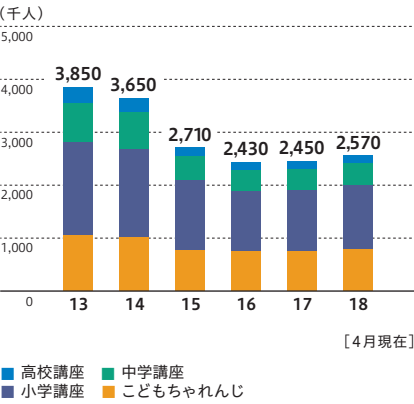
	(千人)									
3月31日に終了した会計年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
「進研ゼミ」延べ在籍数(国内)	43,900	45,512	45,935	45,590	45,271	42,677	38,713	30,040	27,147	27,700
高校講座	3,279	3,418	3,428	3,150	3,188	3,052	2,698	1,765	1,476	1,503
中学講座	7,967	8,113	7,923	7,925	8,058	7,583	6,838	4,416	3,855	4,194
小学講座	18,395	18,911	19,540	19,906	20,092	18,973	17,845	14,667	12,768	12,864
こどもちゃれんじ	14,257	15,068	15,042	14,608	13,931	13,067	11,330	9,189	9,047	9,138

(注) 1. 延べ在籍数は、各年4月から3月までの月次在籍数の累計です。
2. 2011年3月期から、「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数に「こどもちゃれんじbaby」の延べ在籍数を含んでおり、2010年3月期の数値も遡って修正しています。
なお、2010年3月期及び2011年3月期における「こどもちゃれんじbaby」の延べ在籍数はそれぞれ125万人、133万人です。

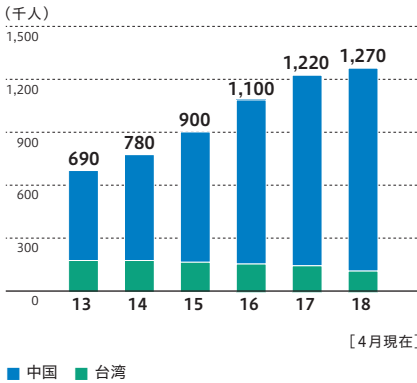
	(千人)									
3月31日に終了した会計年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
「進研模試」等延べ受験者数	7,700	8,100	8,400	8,900	9,100	9,400	9,700	10,000	10,100	10,100

(注)「進研模試」等延べ受験者数は、過去に遡って「進研模試」「スタディーサポート」「進路マップ」等の受験者数を集計し直しています。

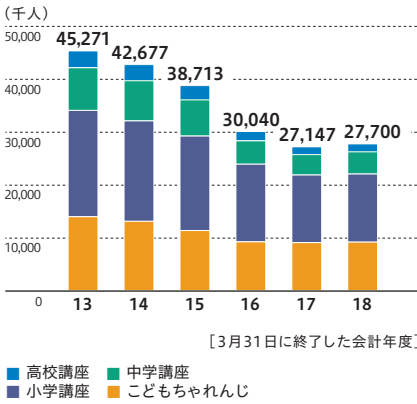
「進研ゼミ」4月会員数(国内)



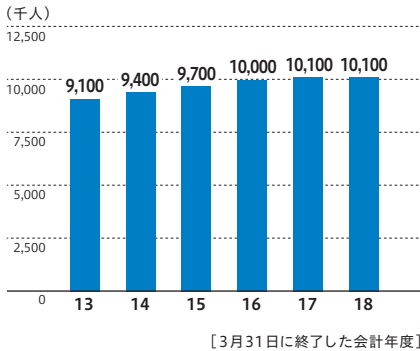
「こどもちゃれんじ」4月会員数(海外)



「進研ゼミ」延べ在籍数(国内)



「進研模試」等延べ受験者数



12月31日に終了した会計年度	(千レッスン)									
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
ベルリッツ語学レッスン数(直営)	7,256	6,216	6,038	6,506	7,007	6,737	6,496	6,232	6,232	6,039
北米	906	756	740	—	—	—	—	—	—	—
ラテンアメリカ	1,453	1,174	1,214	—	—	—	—	—	—	—
アメリカズ	—	—	1,954	2,058	2,035	1,921	1,803	1,674	1,569	1,460
ヨーロッパ	2,844	2,649	2,453	2,727	3,177	3,093	3,006	2,931	3,081	3,041
アジア	2,051	1,636	1,630	1,720	1,793	1,723	1,685	1,626	1,581	1,537

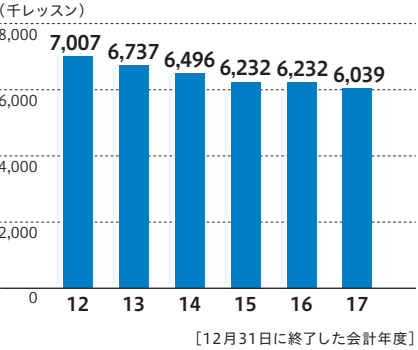
(注) 1. 2011年8月にベルリッツ コーポレーションの子会社となったテレラング社において、顧客との契約期間終了時に未受講分を一括して語学レッスン数に含めていましたが、同社の語学レッスン数を集計する管理基盤が整ったことから、2014年12月期から、契約期間終了時の未受講レッスン数を上記ヨーロッパ、及び合計の語学レッスン数から除いて表示しており、2013年12月期の数値も遡って修正しています。
なお、2014年12月期、及び2013年12月期から除いた同社の語学レッスン数は、それぞれ63千レッスン、及び100千レッスンです。
2. 2011年12月期から、「北米」と「ラテンアメリカ」を合わせて「アメリカズ」へ変更しています。

12月31日現在	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
ベルリッツ拠点数(直営・フランチャイズ)	561	567	570	563	555	535	497	504	507	489
ベルリッツ(直営)	380	379	375	374	370	345	307	305	304	304
ベルリッツ(フランチャイズ)	101	108	111	112	108	112	113	120	125	119
ELS(直営)	49	51	57	61	64	64	66	69	70	59
ELS(フランチャイズ)	31	29	27	16	13	14	11	10	8	7

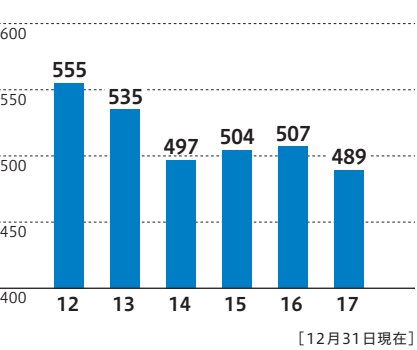
3月31日現在	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
高齢者向けホーム及び住宅数	139	172	204	224	238	253	276	292	308	316
アリア	11	12	15	16	18	20	21	21	22	23
くらら	39	40	40	40	40	40	41	42	42	41
グラニー&グランダ	59	67	77	87	92	99	112	122	130	134
まどか	30	31	43	46	48	49	52	55	57	57
ボンセジュール	—	22	29	31	34	37	38	39	43	45
ここち	—	—	—	4	6	8	11	11	12	14
リレ	—	—	—	—	—	—	1	2	2	2
承継施設数	—	22	7	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2012年4月1日付で、(株)ベネッセスタイルケアと(株)ボンセジュールは、(株)ベネッセスタイルケアを存続会社として合併しました。(株)ボンセジュールの決算日が2月末日であったため、2012年3月期以前の「ボンセジュール」「ここち」は、2月末日の数値を集計しています。

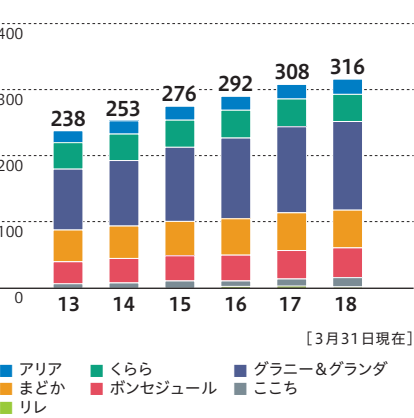
ベルリッツ語学レッスン数(直営)



ベルリッツ拠点数(直営・フランチャイズ)



高齢者向けホーム及び住宅数

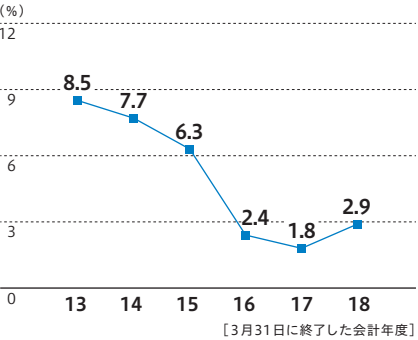


連結経営指標

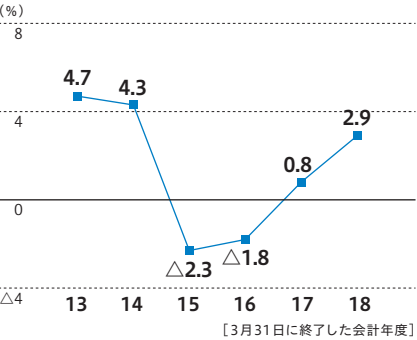
3月31日に終了した会計年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
収益性										
売上高営業利益率(%)	9.5	9.3	10.4	8.0	8.5	7.7	6.3	2.4	1.8	2.9
売上高当期純利益率(%)	2.6	5.4	5.0	3.9	4.7	4.3	△2.3	△1.8	0.8	2.9
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.9	12.9	11.3	8.7	10.9	9.7	△5.3	△4.5	2.1	7.3
総資産当期純利益率(ROA)(%)	3.0	6.3	5.4	3.9	4.7	4.2	△2.2	△1.7	0.7	2.5
従業員1人当たり営業利益(千円)	2,656	2,467	2,538	1,784	1,932	1,791	1,450	527	365	619
従業員1人当たり当期純利益(千円)	725	1,424	1,219	864	1,071	996	△531	△398	169	608
成長性										
売上高増減率(%)	7.3	△1.5	1.5	2.6	6.2	3.6	△0.7	△4.1	△3.2	1.0
営業利益増減率(%)	12.2	△3.2	13.1	△21.2	12.9	△6.1	△18.4	△62.8	△29.2	64.3
当期純利益増減率(%)	△30.9	104.8	△5.9	△20.5	29.2	△5.8	—	—	—	248.5
安全性										
流動比率(%)	121.7	128.9	156.4	150.3	158.1	151.9	134.2	167.2	169.8	167.2
固定比率(%)	96.9	96.3	89.0	104.1	102.0	104.5	121.1	129.0	131.9	129.3
自己資本比率(%)	47.5	49.7	46.2	43.5	43.7	42.9	39.2	36.4	34.9	34.5
手元流動性(ヵ月)	2.5	2.5	3.0	3.5	3.4	3.4	3.4	3.6	3.9	4.2
有利子負債比率(%)	1.6	2.4	9.0	19.7	25.0	27.5	33.9	46.4	58.6	63.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	697.5	597.2	504.4	118.0	44.5	25.6	12.3	3.5	2.1	3.0
1株当たり情報										
当期純利益又は当期純損失(△)(円)	106.98	221.65	208.47	167.79	217.54	206.79	△111.30	△85.37	36.98	128.79
配当金(円)	90	90	95	95	95	95	95	95	95	95
配当性向(%)	84.1	40.6	45.6	56.6	43.7	45.9	—	—	256.9	73.8

(注) 1. 自己資本当期純利益率(ROE)及び総資産当期純利益率(ROA)は、期中平均自己資本及び期中平均総資産に基づき算出しています。
2. 手元流動性＝(期中平均現預金＋期中平均有価証券)÷月平均売上高
3. 有利子負債比率＝期中平均有利子負債残高÷期中平均自己資本×100
4. インタレスト・カバレッジ・レシオ＝(営業利益＋受取利息＋受取配当金)÷支払利息
5. 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)は、期中平均株式数に基づき算出しています。

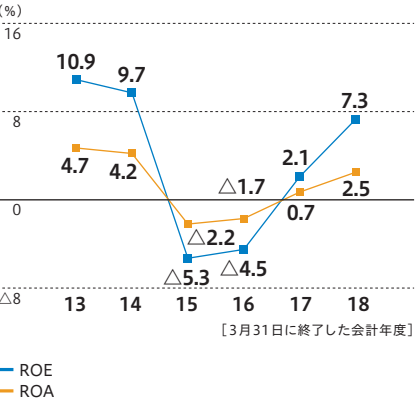
売上高営業利益率



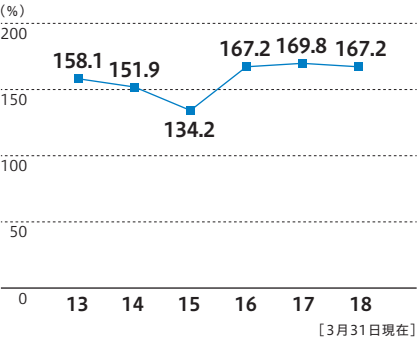
売上高当期純利益率



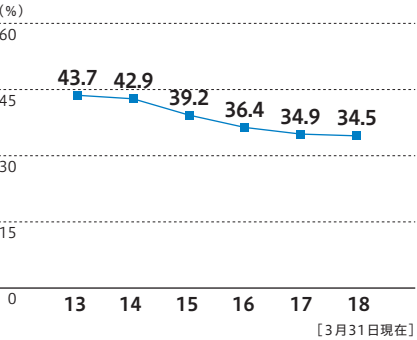
ROE／ROA



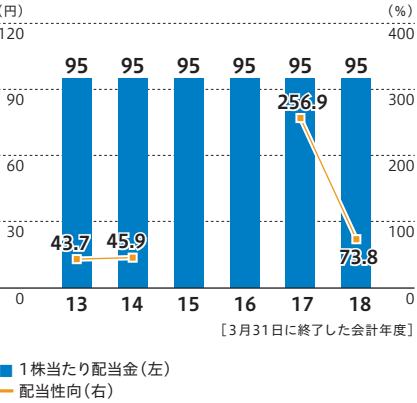
流動比率



自己資本比率



1株当たり配当金／配当性向



[人財]

ベネッセコーポレーション従業員・管理職等に占める女性比率										各年4月時点／正社員
	2014		2015		2016		2017		2018	
	男性 女性	女性比率	男性 女性	女性比率	男性 女性	女性比率	男性 女性	女性比率	男性 女性	女性比率
従業員数	1,141 1,476	56%	1,233 1,426	54%	1,046 1,297	55%	997 1,266	56%	1,045 1,295	55%
課長層	210 92	30%	177 81	31%	171 81	32%	150 71	32%	146 92	39%
部長層	33 5	13%	35 12	26%	53 16	23%	50 19	28%	55 25	31%
役員	4 2	33%	5 2	29%	7 2	22%	9 2	18%	10 3	23%

ベネッセグループ障がい者雇用率					各年3月1日時点
	2014	2015	2016	2017	2018
障がい者雇用率	2.32%	2.33%	2.11%	2.23%	2.50%

(注) 1. 「障がい者雇用率制度」適用グループ企業の障がい者雇用率
2. 2016年3月はグループ適用範囲を拡大した関係で一時的に雇用率が低下していますが、積極的に雇用率を高めた結果、2017年3月期以降は改善しています。

ベネッセスタイルケア／ベネッセコーポレーション育児休職開始者数・復職者数										各年3月期
	2014		2015		2016		2017		2018	
	休職 開始者数	復職者数 (率)	休職 開始者数	復職者数 (率)	休職 開始者数	復職者数 (率)	休職 開始者数	復職者数 (率)	休職 開始者数	復職者数 (率)
ベネッセスタイルケア (正社員、契約社員、 準常勤スタッフ)	110	83 (75.5%)	148	117 (79.1%)	156	129 (82.7%)	166	126 (75.9%)	215	
ベネッセコーポレーション (正社員、特定職社員、 契約社員)	95	83 (87.4%)	104	93 (89.4%)	94	82 (87.2%)	94	82 (87.2%)	89	

(注) 復職者：各社の制度上の休職期限までに復職した者

育児時短取得者数					各年4月時点
	2014	2015	2016	2017	2018
ベネッセスタイルケア (正社員、契約社員、準常勤スタッフ)	79	110	137	137	161
ベネッセコーポレーション (正社員、特定職社員、契約社員)	131	108	152	128	109

ベネッセスタイルケア保育手当支給人数					各年5月時点(2014年のみ4月時点)
	2014	2015	2016	2017	2018
支給人数	207	232	258	314	328

[環境]

						各年3月期
	単位	2014	2015	2016	2017	2018
電力使用量	万kWh	940	901	792	791	793
紙使用量	t	86,286	62,992	60,060	54,166	55,948
水使用量	m³	55,002	60,254	60,340	58,293	58,000
CO ₂ 排出量	t	5,282	5,471	4,717	4,787	4,154
廃棄物(紙)排出量	t	2,514	2,907	2,850	2,217	1,999
廃棄物(産業廃棄物)排出量	t	1,028	994	971	609	537

(注) 1. 電力及び水使用量は、岡山本社、東京本部及びベネッセ・ロジスティクス・センターの数値を集計しています。
2. 紙使用量は、オフィス使用を除いて集計しています。
3. CO₂排出量は、電力分のみ集計しています。
4. 廃棄物(紙)排出量は通信教育事業、通信販売事業に関わる数値を集計しています。
5. 廃棄物(産業廃棄物)排出量は、岡山本社、東京本部、物流拠点(岡山、神奈川、埼玉、群馬)分で算出しています。

ベネッセコーポレーションは、2014年3月期を基準年度とし、以下の通り、温室効果ガスの排出量の中長期的な削減目標を立てています。

			各年3月期
	毎年	2031	2051
2014年3月期を100%とした場合の削減率	2.1%以上	31%	55%

(注) 1. 上記削減目標は、スコープ1、スコープ2、スコープ3を対象としています。
スコープ1：ベネッセ自らによる温室効果ガスの直接排出
スコープ2：他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
スコープ3：ベネッセのバリューチェーンからの排出
2. スコープ3の対象カテゴリー：カテゴリー1(購入した製品・サービス)、4・9(輸送・配送 上流・下流)、5(事業から出る廃棄物)、6(出張)、7(雇用者の通勤)、8(リース資産)、11(販売した製品の使用)、12(販売した製品の廃棄)
3. 対象組織範囲：ベネッセコーポレーションの国内及び台北支社の11事業所

					各年3月期
単位：t-CO ₂	2014(基準年度)	2017(報告年度)		基準年度からの削減率	報告年度の削減率
		目標	実績		
スコープ1	11,025	22,973,766	1,794	49.0%	45.6%
スコープ2	9,352		7,054		
スコープ3	24,471,911		12,480,614		
スコープ1、2、3合計	24,492,288		12,489,461		

【第三者検証】
当社は、CO₂排出量実績の信頼性向上のため、2017年3月期数値において、スコープ1及びスコープ2とスコープ3のうちのカテゴリー1(購入した製品・サービス)、3(エネルギー関連活動)、4・9(輸送・配送 上流・下流)、5(事業から出る廃棄物)、6(出張)、7(雇用者の通勤)、8(リース資産)、11(販売した製品の使用)、12(販売した製品の廃棄)について、一般財団法人日本品質保証機構による第三者検証を受けています。

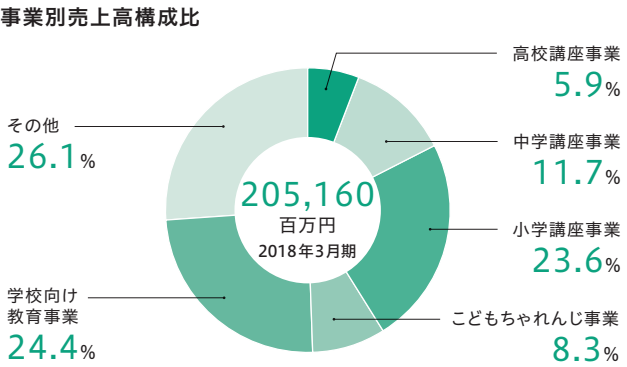
国内教育

1. 事業概況

国内教育は、ベネッセグループ全体の売上高の47.2%を占める基幹事業です。主力商品である「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」は、幼児から高校生を対象とした通信教育講座で、対象人口の約14%が受講しています。紙の教材、タブレット端末をはじめとしたデジタル教材に、赤ペン先生などによる人のサポートを組み合わせて個別対応力や双方向性を高めることで、多様化・個別化する顧客ニーズにきめ細かく対応できる商品・サービスの開発を進めています。このほかにも、高校を対象とした大学入試模擬試験「進研模試」、学習・進路支援教材「スタディーサポート」などを提供しています。また、子どもたちの学習スタイルやニーズの多様化に対応し、学習塾、英語教材および子ども向け英語教室など、さまざまな教育サービスを提供しています。

事業別売上高内訳 (百万円)				
	2017年 3月期	2018年 3月期	増減	増減率 (%)
高校講座事業	11,930	12,113	183	1.5
中学講座事業	21,544	24,106	2,561	11.9
小学講座事業	47,895	48,361	465	1.0
こどもちゃれんじ事業	16,757	16,942	185	1.1
小計	98,128	101,524	3,395	3.5
学校向け教育事業	47,152	50,051	2,899	6.1
その他	49,125	53,584	4,459	9.1
国内教育計	194,406	205,160	10,753	5.5

(注) 事業別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいません。



進研ゼミ事業

「進研ゼミ」は、ベネッセコーポレーションが提供する通信教育講座です。家庭学習用教材で、学校の授業の予習・復習や受験対策など、会員は各自の目的に合わせて教材を利用することができます。「進研ゼミ」の教材と添削問題は、月に一度、会員の手元へ郵送で届けられます※。会員は、送られてきた課題を期限内に終え、添削指導を行う赤ペン先生に提出します。「進研ゼミ」の強みの一つは、会員一人ひとりに個別対応している点です。会員は、学校で使用している教科書や自分の学習ペース、学習レベル、地域、あるいは志望校に合わせて学習することが可能です。

※専用タブレット端末を中心に学習を進める講座は内容が異なります。

「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」会員数・シェア／1人当たりの月平均単価

	2017年4月		2018年4月	
	会員数 (万人)	シェア※ (%)	会員数 (万人)	シェア※ (%)
高校講座	15	4.3	16	4.5
中学講座	40	11.8	42	12.8
小学講座	116	18.2	120	19.0
こどもちゃれんじ	74	14.0	79	15.1
合計	245	13.2	257	14.0

※シェアは、対象人口に占める会員数の割合

	2018年3月期 1人当たりの 月平均単価 (円)
高校講座	8,059
中学講座	5,748
小学講座	3,759
こどもちゃれんじ	1,854
合計	3,665

学校向け教育事業

ベネッセコーポレーションでは、高校生を対象とした大学入試模擬試験「進研模試」を提供しています。また、このほかにも、生徒が最良の進路を選択するための進路支援教材「スタディーサポート」、スコア型英語検定「GTEC」などを提供しており、全国の高校の約90%と取引があります。

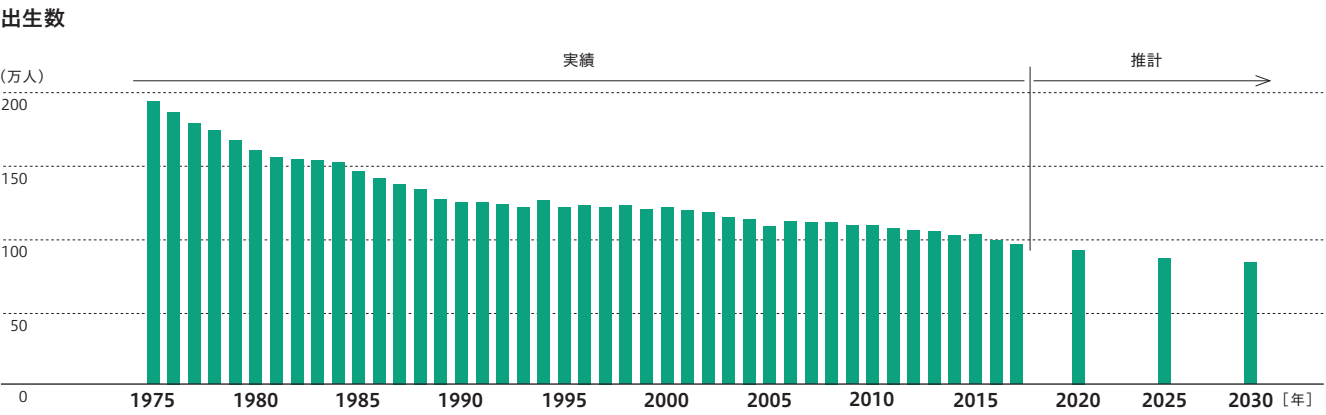
2. 市場の動向

国内の年間出生数は1975年に200万人を割り込んで以来、減少傾向にあり、2017年はピーク時の約半分の94万人となりました。今後も少子化は進行し、年間出生数は年平均1.5%程度減少することが見込まれています。

少子化の一方、2016年度の校外学習市場は1兆4,620億円と2011年度並みの市場規模を維持しています。同市場の対象範囲には、学習塾・予備校や通信教育、家庭教師派遣、

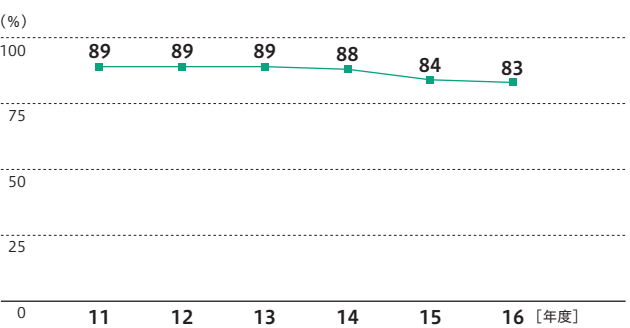
学習参考書などの補助教材および幼児教育などが含まれます。

2016年度の通信教育（未就学児向け／小学生から高校生向け）の市場規模は1,176億円で、校外学習市場の8.0%を占めています。また、通信教育市場におけるベネッセのシェアは、2016年度83%と高水準です。校外学習市場において65.8%を占める規模の大きな市場である学習塾・予備校の2016年度の市場規模は、9,620億円です。



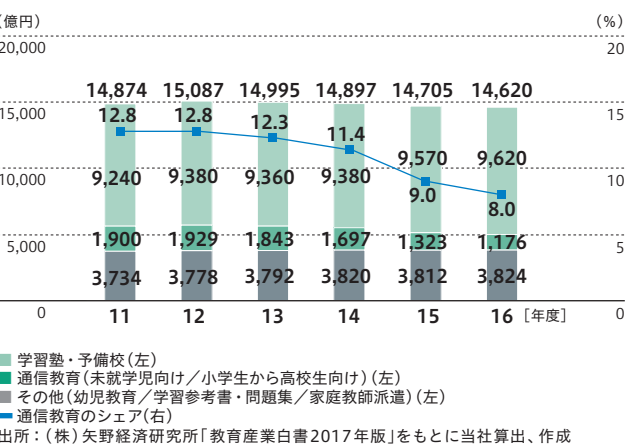
出所：2017年までは厚生労働省「人口動態統計」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」

通信教育市場におけるベネッセのシェアの推移



(注) 通信教育市場は、未就学児向けおよび小学生から高校生向けの合算値
出所：(株)矢野経済研究所「教育産業白書2017年版」をもとに当社算出、作成

校外学習市場の推移



出所：(株)矢野経済研究所「教育産業白書2017年版」をもとに当社算出、作成

国内教育

3. 2018年3月期の業績概況

国内教育の売上高は、2,051億6千万円と、前期比5.5%の増収となりました。

増収の主な要因は、「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数が増加したこと、大学向け留学支援事業の伸長および(株)東京教育研、(株)東京個別指導学院の生徒数が増加したことならびに(株)東京教育研、(株)お茶の水ゼミナールにおける決算日変更による影響です。

営業利益は、増収による増益および「進研ゼミ」のコスト削減などにより、99億5千8百万円と、前期比495.7%の増益となりました。

FAQ よくあるご質問

Q1.

「進研ゼミ」の4月会員数と延べ在籍数の違いは？

A1.

4月会員数は、「進研ゼミ」の4月号教材を受け取った会員数で、延べ在籍数は、4月から翌年3月までの間に「進研ゼミ」の教材を受け取った会員数の累計です。

Q2.

「進研ゼミ」の高校講座の会員数が中学講座に比べて大幅に減少するのはなぜ？

A2.

現在、日本における高校への進学率[※]は約99%ですが、そのうち大学や短大に進学する生徒は約55%です。このため、大学受験に備えて「進研ゼミ」を受講する高校生の数も、高校受験をする中学生に比べて、大幅に減少します。

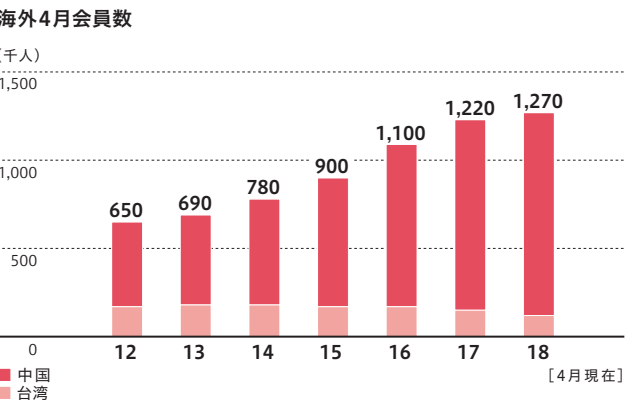
※出所：文部科学省「平成29年度学校基本調査」

海外事業

1. 事業概況

海外事業は、ベネッセグループ全体の売上高の6.7%を占めています。現在、中国、台湾で幼児向けを中心とした通信教育事業を行っており、順調に会員数を伸ばしています。2018年4月時点の海外通信教育講座の会員数は、中国115万人、台湾12万人で、合計127万人です。

2018年7月には、インドネシアでも幼児向け通信教育講座をスタートしました。



2. 市場の動向

中国の2015年の出生数[※]は1,655万人と、日本の同年の出生数(100万人)の約17倍という巨大な市場です。また、2016年より1979年から続いた人口抑制の国策「一人っ子政策」は正式に廃止されました。

※出所：総務省統計局「世界の統計2018」

海外事業の売上高は、290億8千9百万円と、前期比3.7%の増収となりました。

増収の主な要因は、円高による為替換算時のマイナス影響があったものの、中国での通信教育講座の延べ在籍数が増加したことです。

営業利益は、増収による増益があったものの、販売拠点拡大によるコスト増および円高による為替換算時のマイナス影響などにより、21億2百万円と、前期比33.0%の減益となりました。

FAQ よくあるご質問 ※文中のベネッセはベネッセグループのことを表します。

Q1.

中国で展開している講座の対象年齢と単価は？

A1.

中国では、0歳から8歳(小学2年生)までを対象とした講座を展開しており、単価は約130円／月です。また、2018年4月時点における中国での会員数は、0歳から8歳までの合計で115万人です。

Q2.

中国での事業はベネッセ単独で展開？

A2.

ベネッセは、2006年度より、日本で展開する幼児向け通信教育講座「こどもちゃれんじ」の中国版にあたる「楽智小天地」の事業展開を行ってきました。「楽智小天地」は、現地パートナーである中国福利会傘下の中国中福会出版社がライセンス出版しています。

介護・保育

1. 事業概況

介護・保育は、ベネッセグループ全体の売上高の25.7%を占め、国内教育に次ぐ第二の基幹事業です。ベネッセスタイルケアを中心に入居介護サービス事業(有料老人ホーム・高齢者向け住宅の運営)、在宅介護サービス事業、保育園・学童運営事業などを行っています。

有料老人ホーム・高齢者向け住宅

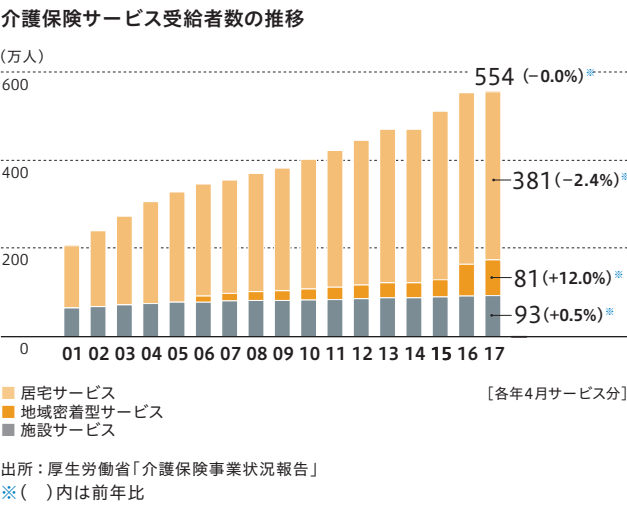
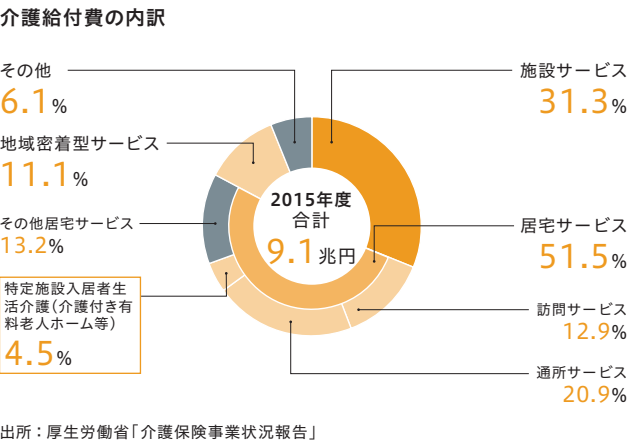
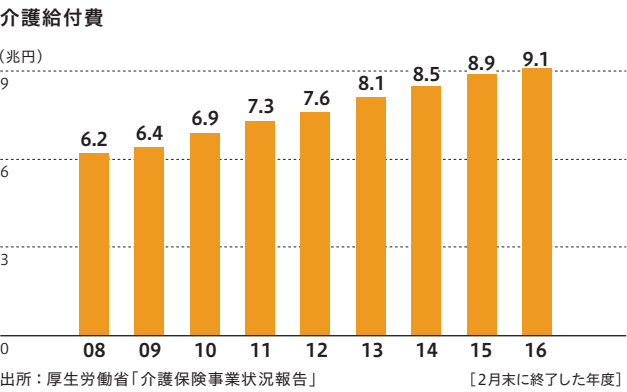
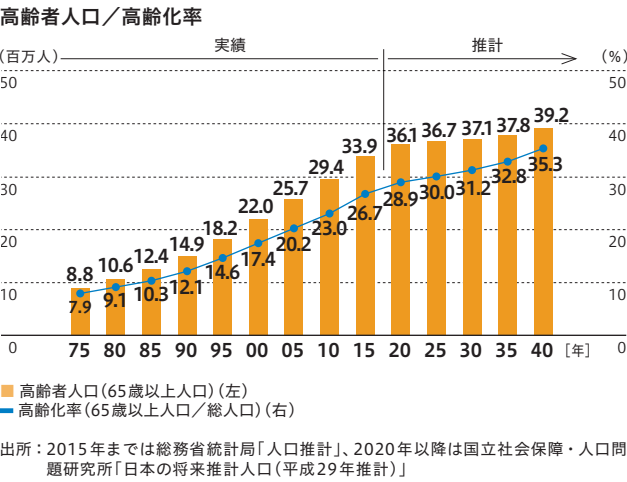
ベネッセのホームでは、入居された高齢者の食事などの介護や日々の生活に必要な支援を行っており、介護保険の指定を受けている介護付き有料老人ホームを中心に運営しています。また、ベネッセでは、価格帯やサービス内容がそれぞれ異なる7つのシリーズを展開し、お客さまの幅広いニーズに対応しています。

2. 市場の動向

高齢化の進行にともない、介護を必要とする方も増加を続けており、高齢者の介護問題を解決するために、2000年に社会保険方式を採用した介護保険制度が施行されました。以降、国内の介護市場^{※1}は急速に拡大しており、2015年度の介護給付費は、前年度比2.2%増加して9.1兆円、2017年4月時点の介護保険サービス受給者数は、前年比横ばいの554万人となりました。

65歳以上の高齢者が全人口に占める割合^{※2}は、2017年時点で前年比0.4ポイント増加の27.7%と高齢化が急速に進行しています。この傾向は続き、2025年には高齢化率が30%に達する見込みです。

※1 出所：厚生労働省「介護保険事業状況報告」
※2 出所：総務省統計局「人口推計(2017年10月1日現在)」



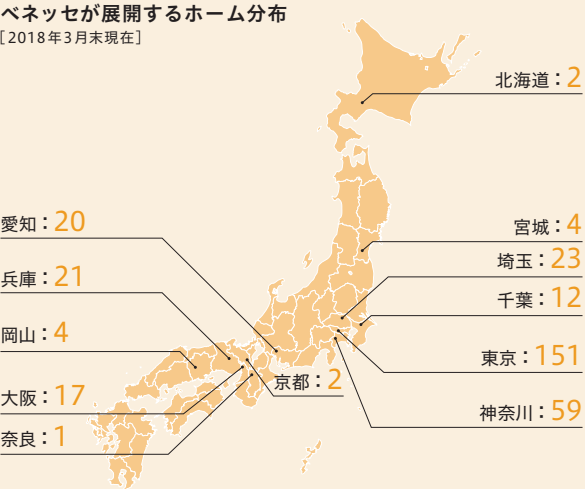
3. 2018年3月期の業績概況

介護・保育カンパニーの売上高は、1,118億1千2百万円と、前期比8.6%の増収となりました。増収の主な要因は、高齢者向けホーム及び住宅数を前期比8ホーム拡大し、入居者数が順調に増加したこと。営業利益は、処遇改善によるコスト増などがあったものの、増収による増益により、88億5千万円と、前期比8.1%の増益となりました。

FAQ よくあるご質問 ※文中のベネッセはベネッセグループのことを表します。

Q1. ベネッセの運営するホームは自社で保有している？
A1. ほとんどのホームはリース物件です。2018年3月末時点で、自社で土地または建物を保有するホームは23あり、全316ホームのうちの7%です。

Q2. ベネッセのホームは国内のどの地域で展開？
A2. 首都圏を中心に需要の高い地域でホームを展開しています。2018年3月末時点で、首都圏のホーム数は245あり、全体の78%を占めています。そのほかに関西や東海地区などの大都市でも展開しています。



Q3. 保育園や学童の運営は行っている？
A3. 1994年に保育事業を開始し、最初の保育園を開設して以降、順次園の数を増やしてきました。また、2014年には学童事業を開始しました。2018年4月1日時点で保育園53カ所、学童24カ所を運営しています。



1. 事業概況

語学は、ベネッセグループ全体の売上高の13.2%を占めています。米国子会社のベルリッツ コーポレーションは、世界70以上の国と地域に489のランゲージセンターを有する世界最大級の語学・グローバル人材育成企業です。

ベルリッツ 地域別拠点数			
地域	ベルリッツ	ELS	合計
アメリカズ	135	57	192
ヨーロッパ	204	3	207
アジア	84	6	90
合計	423	66	489

(注) フランチャイズを含みます。 [2017年12月末現在]

2. 市場の動向

2015年の世界の語学学習市場※1は541億米ドルと対2013年比3.9%減少しました。インターネットなどの技術を活用した低価格の商品・サービスの利用が進んでいることを背景に総額は徐々に減少しています。

一方、世界の留学生市場※2は、2011年に304万人だった留学生数が2024年には385万人と、中国、インドおよびその他新興国からの留学生の増加を背景に年率1.8%増での成長が見込まれています。

※1 出所：Ambient Insight「The 2015–2020 Worldwide Digital English Language Learning Market」
※2 出所：Education intelligence, British Council「The Future of the World's Mobile Students to 2024」

3. 2018年3月期の業績概況

語学の売上高は、571億3千2百万円と、前期比5.2%の減収となりました。

減収の主な要因は、円安による為替換算時のプラス影響があったものの、サウジアラビアからの留学生の減少などによるベルリッツ コーポレーションのELS事業(留学支援事業)の減収および欧州と米州において語学レッスン数が減少したことです。

利益面では、減収による減益などにより、37億7千9百万円の営業損失(前期は4億7千9百万円の営業損失)となりました。

発行済株式総数
102,464,061株

上場日
1995年10月26日

上場証券取引所(普通株式)
東京証券取引所 市場第一部

証券コード
9783

ISINコード
JP3835620000

単元株式数
100株

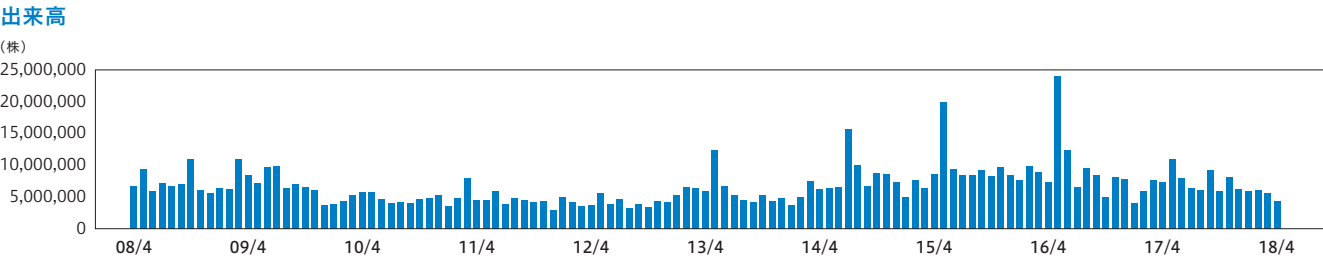
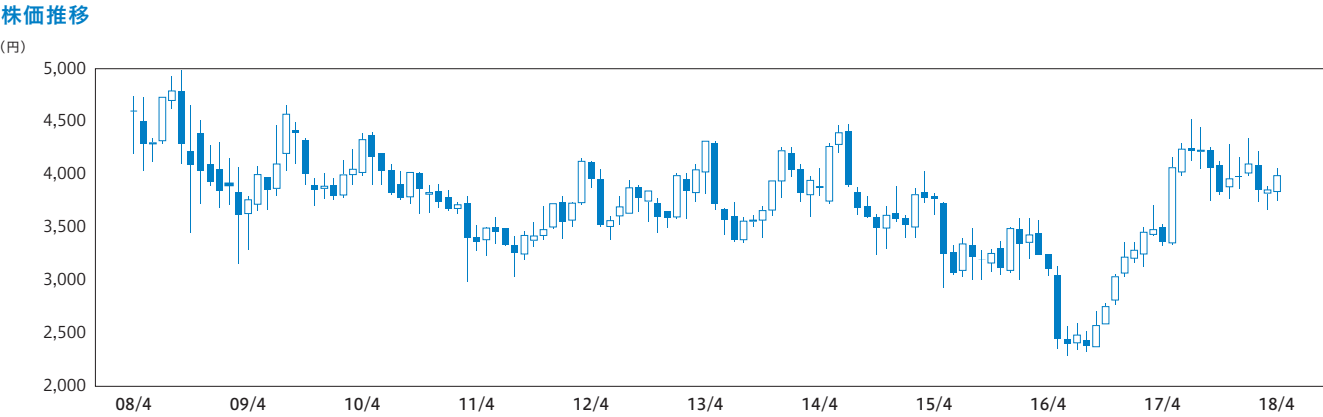
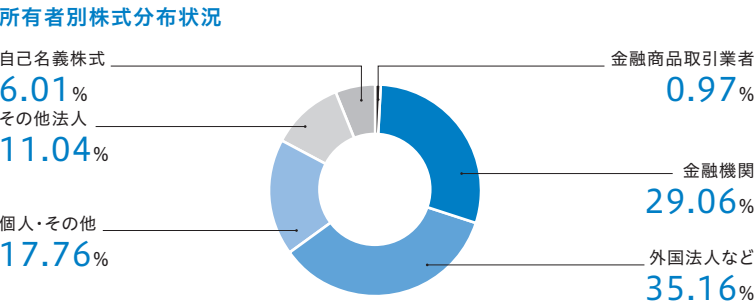
会計監査人
有限責任監査法人トーマツ

株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行(株)

株主数
38,423名

大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)	11,804	12.25
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	10,311	10.70
efu Investment Limited	7,858	8.15
(公財) 福武財団	6,408	6.65
JP MORGAN CHASE BANK	3,288	3.41
(株) 中国銀行	2,787	2.89
STATE STREET BANK WEST CLIENT	2,343	2.43
(株) 南方ホールディングス	1,836	1.90
福武信子	1,769	1.83
みずほ信託銀行(株)	1,600	1.66

(注) 1. 日本マスタートラスト信託銀行(株)の持株数には、福武英明氏が代表を務める資産管理および投資活動目的の法人であるefu Investment Limitedが信託財産として提出している当社株式6,809千株(持株比率7.07%)を含み、委託された信託財産の議決権行使に関する指図者は、efu Investment Limitedです。
2. 当社は自己株式6,156千株を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。



(注) 2013年7月16日までは、大阪証券取引所における株価、出来高。2013年7月16日付で東京証券取引所と大阪証券取引所が統合したこととともない、同日以降は、東京証券取引所における株価、出来高。

FAQ

よくあるご質問

Q1. ベルリッツの売上高の内訳は？

A1. 売上高の内訳は以下のとおりです。

ベルリッツ売上高内訳

HQ(本社)他	△0.1%
ELS事業(留学支援事業)	23.4%
語学学習事業	76.7%

471.4 百万米ドル

語学学習事業地域別内訳

アジア	30.4%
アメリカズ	19.1%
ヨーロッパ	50.5%

361.6 百万米ドル

[2017年12月期]

Q2. 地域別のレッスン数は？

A2. ベルリッツ直営拠点のレッスン数の地域別構成は以下のとおりです。

(千レッスン)

地域	2016年12月期	2017年12月期	増減率
アメリカズ	1,569	1,460	△6.9%
ヨーロッパ	3,081	3,041	△1.3%
アジア	1,581	1,537	△2.8%
合計	6,232	6,039	△3.1%

会社情報

会社概要

(2018年3月31日現在)

社名(商号)	株式会社ベネッセホールディングス (英文社名)Benesse Holdings, Inc.
設立	1955年1月28日
本社所在地	〒700-0807 岡山市北区南方3-7-17 TEL:086-225-1165(代表)
代表者	代表取締役社長 安達 保 (2018年6月23日現在)
従業員数	連結20,387人
資本金	13,623百万円
決算日	3月31日

役員一覧

(2018年6月23日現在)

取締役	代表取締役社長	安達 保
	取締役会長※1※3	岩田 真二郎
	代表取締役副会長	福原 賢一
	代表取締役副社長	小林 仁
	取締役	滝山 真也
	取締役	山崎 昌樹
	取締役※1※3	辻村 清行
	取締役※1	福武 英明
監査役	取締役※1※3	安田 隆二
	取締役※1※3	桑山 信雄
	常勤監査役	松本 芳範
	常勤監査役	桜木 君枝
	監査役※2※3	出雲 栄一
	監査役※2	石黒 美幸
	※1 社外取締役	
	※2 社外監査役	
	※3 独立役員	

連結子会社一覧

(2018年3月31日現在)

名称	資本金または出資金 (百万円)	議決権の 所有割合(%)	主な事業内容
(株)ベネッセコーポレーション	3,000	100.0	校外学習事業、学校向け教育事業、出版事業、通信販売事業
(株)アップ	1,667	100.0	進学指導、科学実験教室、英会話指導などの教室運営
(株)東京個別指導学院	642	61.9	個別指導教育を中心とした学習塾事業
(株)ベネッセi-キャリア	261	51.0	大学生・社会人向けキャリア教育、キャリア形成支援サービス
(株)進研アド	65	100.0	高等教育機関専門の広告事業
(株)プランディット	40	100.0	学習教材の企画、編集
(株)ミネルヴァインテリジェンス	11	100.0	こども英会話教室の運営
(株)ラーンズ	10	100.0	学習教材の製作、販売
(株)お茶の水ゼミナール	10	100.0※1	高校生向け予備校事業
(株)東京教育研	10	100.0	難関大学受験指導専門の学習塾事業
倍楽生商貿(中国)有限公司	125,000千人民币元	100.0	幼児向け通信教育事業
PT. Benesse Indonesia	136,700百万 インドネシアルピア	100.0※2	インドネシアにおける学習塾事業
(株)ベネッセスタイルケア	100	100.0	高齢者介護サービス事業、保育事業
(株)ベネッセシニアサポート	100	100.0※3	介護相談サービス事業
(株)ベネッセパレット	100	80.0※4	高齢者向け配食サービス・介護食事業
(株)ベネッセMCM	80	100.0※3	看護師および介護職の人材紹介派遣業
Berlitz Corporation	1,005千米ドル	100.0	語学教育事業、グローバル人材教育事業、留学支援事業
(株)サイマル・インターナショナル	40	100.0	通訳、翻訳、語学教育事業
(株)ベネッセインフォシエル	150	70.0	情報システムの保守運用事業、情報処理サービス業
(株)ベネッセビジネスメイト	50	100.0※5	総務経理業務代行、アウトソーシング事業
(株)直島文化村	20	100.0	ホテル事業
(株)ベネッセ・ベースコム	20	100.0	学習教材、ソフトウェアの製作、販売業務サポート、発送管理代行
(株)ベネッセ・インシュアランス・サービス	20	94.0※6	保険代理業
Benesse Hong Kong Co., Ltd.	3,600千香港ドル	100.0	教具、玩具生産、仕入、貿易業務

(注) その他14社の連結子会社があります。

※1 子会社を通しての50.0%の間接所有を含みます。
※2 子会社を通しての0.3%の間接所有を含みます。
※3 子会社を通しての間接所有です。

※4 子会社を通しての80.0%の間接所有です。
※5 子会社を通しての4.0%の間接所有を含みます。
※6 子会社および関連会社を通しての64.0%の間接所有を含みます。

沿革

1955	岡山市南方420番地に(株)福武書店を創立 中学向けの図書、生徒手帳発行を開始
1962	高校生向け「関西模試」を開始(73年に「進研模試」として全国展開)
1969	高校生向け通信添削講座「通信教育セミナ」を開講
1972	中学生向け通信添削講座「通信教育セミナ・ジュニア」を開講
1980	第1次CI で「文化化・情報化・国際化」を発信 進研ゼミ「小学講座」を開講
1988	進研ゼミ「幼児講座」(現在の「こどもちゃれんじ」)を開講 台北支社を設立
1990	第2次CI でフィロソフィ・ブランド「Benesse」を発表
1991	ベネッセ・ロジスティクス・センター(岡山県瀬戸内市長船町)を竣工
1993	世界最大の語学企業ベルリッツ コーポレーションを子会社化 「たまごクラブ」「ひよこクラブ」を創刊
1994	東京支社(現在の東京本部)が東京都多摩市に移転
1995	商号を(株)ベネッセコーポレーションに変更 大証2部/広証へ株式上場
1997	大証1部へ指定替え
1998	(株)サイマル・インターナショナルを子会社化
2000	東証1部へ株式上場 介護事業の運営会社の(株)ベネッセケアを設立 介護付高齢者向けホームの伸こう会(株)を子会社化
2001	ベルリッツ コーポレーションを完全子会社化 高校向け教材出版社(株)ラーンズを設立
2003	ベネッセグループの介護事業会社3社を(株)ベネッセスタイルケアとして統合 (株)進研アドを子会社化 Benesse Hong Kong Co., Ltd.を設立
2006	(株)お茶の水ゼミナールを子会社化
2007	(株)東京個別指導学院を子会社化 倍楽生商貿(中国)有限公司を設立
2009	(株)東京教育研を設立 持株会社体制へ移行 商号を(株)ベネッセホールディングスに変更
2010	(株)ボンセジュールを子会社化
2012	(株)アップを子会社化 (株)ボンセジュールを(株)ベネッセスタイルケアに合併
2013	配食サービス事業を行う(株)ベネッセパレットを設立
2014	個人情報漏えい事故発生 介護相談サービス事業を行う(株)ベネッセシニアサポートを設立 (株)ミネルヴァインテリジェンス(現在の(株)ベネッセビースタジオ)を子会社化
2015	(株)ベネッセインフォシエルを設立 (株)ベネッセi-キャリアを設立